



□ 古川のはいだわら

荒川の支流にあたる古川。昔、肥料となる灰の運搬船が、このあたりの流れが急で渦を巻いていたことから引っ繰り返ったという伝承があり、灰俵と呼ばれるようになったとか。現在は、釣り糸を垂れる人がちらほら、回りをくると見渡せる景観にはなっていないものの、入間川を渡るときに独特の雰囲気を感じる場所である。